

保護者等向け 放課後等デイサービス及び児童発達支援事業 評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制 整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	93%			無回答 7%
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	73%	20%		無回答 7%
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	20%	47%	27%	無回答 7%
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	93%			無回答 7%
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	60%	33%		無回答 7%
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		40%	53%	無回答 7%
保護者 への 説明 等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	87%	7%		無回答 7%
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	93%			無回答 7%
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	93%			無回答 7%
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		13%	80%	無回答 7%
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	67%	27%		無回答 7%
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	73%	20%		無回答 7%
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	73%	20%		無回答 7%
	⑭	個人情報に十分注意しているか	93%			無回答 7%
非常 時 等 の 対 応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	67%	27%		無回答 7%
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	67%	27%		無回答 7%
満 足 度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	93%			無回答 7%
	⑱	事業所の支援に満足しているか	93%			無回答 7%

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等にに応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス 自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			広いスペースの他に静養室など落ち着ける場所を設けている
	②	職員の配置数は適切であるか		○		職員の体調不良時に人手不足を感じる時がある
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		室内の利用者が過ごすスペースは段差なく作られているが、スロープ等がなかったり細かいところの段差が有り改善が必要な箇所がある
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			ミーティングを細かく行い職員全員が意見を発言できる機会を設けている
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		保護者アンケートを元に改善に勤めているが、達成されていない事、改善をしたが保護者にうまく伝わっていない所などがあり更なる努力が必要
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			年度始まりに、前年度の活動のアンケートを行いホームページで公開している
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			第三者委員に活動の報告を行い、評価や改善の助言を頂いている
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		個人に研修の機会を設けているが、その内容を他の職員に研修内容を伝える機会が無いので機会を設けられるよう努めて行く
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			面談日を設け、利用者の方や保護者の方からニーズを聞ける機会を設けている
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントツールに関して見直し等の機会を設けて行く
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			イベント企画を色々な職員で行うようにし、ミーティングで職員に共有するように努めている
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○		感染症拡大防止の観点から、活動が制限されてしまうことがあった
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		季節に応じた支援やイベントを行なっているが、より細かい部分に関して努力が必要
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			支援計画作成前に、職員で集まりケース会を行なっている
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝、昼と職員ミーティングを行い、役割や注意事項等を確認している
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		送迎で戻る時間が異なったり、職員の家庭状況により全員集まるのが困難なので、LINE Worksを活用して行なっている
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			利用者の方ごとに記録を行なっている
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			保育士を中心に定期的に行なっている
関係	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			日々努めている
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			日々努めている
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			月末に翌月の利用予定を学校にお渡ししている

機 関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		現在医療的ケアが必要なお子さんをお預かりしていないが、対応ができるように体制を整えている
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		児童発達支援事業所との情報共有を必要な場合行なっている
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			卒業時にモニタリングをお渡ししている
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		相談支援事業所や、市役所を通して行なっている
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	放課後児童クラブや児童館との交流はなく、今後障害のない子どもと活動する機会を作るため、以前行っていた家族参加型のイベント等を計画していく
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	○			富里市の自立支援協議会の教育・療育部に属し参加している
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			帰りの引き渡し時、日々の連絡帳にて努めている
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		面談等でご相談いただいた場合に、つくしんぼでの対応方法等お話をさせていただいているが、全家庭ではないので、今後努力が必要
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			新規契約時、内容に変更があった場合説明を行っている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談を受けた際は、記録を取り解決に向け努めている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	感染症拡大防止の観点から中止していたが、再開を検討して行く
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情受付の窓口、責任者を設置し対応に努めている
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			まちコミを利用し情報を発信している
	35	個人情報に十分注意しているか	○			日々努めている
非 常 時 等 の 対 応	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			日々努めている
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	感染症拡大防止の観点から行っていないので今後検討していく
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		マニュアルを策定、職員に周知し訓練を行なっているが、保護者の方への周知が不足しているので今後努力が必要
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年に2回訓練を行なっている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			法人事務局にて外部研修を申し込み、職員が参加できるよう努めている
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		必要な方に対して対応させて頂くようにしているが、現状対象となる方がいらっしゃらない
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			健康調査票を保護者の方に記入していただき、それを元に対応している
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットを作成し、職員で共有し再発防止に努めている	

事業所における自己評価結果（公表）

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		広いスペースの他に静養室など落ち着ける場所を設けている	
	②	職員の配置数は適切である	○			職員の体調不良時に人手不足を感じる時がある
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		室内の利用者が過ごすスペースは段差なく作られている	スロープ等がなかったり細かいところの段差が有り改善が必要な箇所がある
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		掃除を朝、おやつ後、昼食後、サービス提供後に行なっている	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		ミーティングを細かく行い職員全員が意見を発言できる機会を設けている	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			保護者アンケートを元に改善に動めているが、達成されていない事、改善をしたが保護者にうまく伝わっていない所などがあり更なる努力が必要
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		年度始めに、前年度の活動のアンケートを行いホームページで公開している	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		第三者委員に活動の報告を行い、評価や改善の助言を頂いている	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			個人に研修の機会を設けているが、その内容を他の職員に研修内容を伝える機会が無いので機会を設けられるよう努めて行く
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		面談日を設け、利用者の方や保護者の方からニーズを聞く機会を設けている	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			アセスメントツールに関して見直し等の機会を設けて行く
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		子ども一人ひとりに合った支援が実現できるよう日々努めている	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		スタッフで支援計画を共有し日々努めている	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		イベント企画を色々な職員で行うようにし、ミーティングで職員に共有するように努めている	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			感染症拡大防止の観点から、活動が制限されてしまうことがあった
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		支援計画作成前に、職員で集まりケース会を行なっている	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝、昼と職員ミーティングを行い、役割や注意事項等を確認している	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		送迎で戻る時間が異なったり、職員の家庭状況により全員集まるのが困難なので、LINEWorksを活用して行なっている	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		利用者の方ごとに記録を行なっている	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		保育士を中心に定期的に行なっている	
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		日々努めている	
㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		富里市子育て支援課、相談支援事業と連携を行なっている		

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		現在医療的ケアが必要なお子さんをお預かりしていないが、対応ができるように体制を整えている	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		現在医療的ケアが必要なお子さんをお預かりしていないが、対応ができるように体制を整えている	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		児童発達支援事業所との情報共有を必要な場合行なっている	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		モニタリングをお渡す際に、サポートファイルに入れていただき、学校の先生やコーディネータの先生へ見せて頂くようアナウンスしている	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		相談支援事業所や、市役所を通して行なっている	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		活動の交流は無く、今後障害のない子どもと活動する機会を作るため、以前行っていた家族参加型のイベント等を計画していく
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		富里市の自立支援協議会の教育・療育部会に属し参加している	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		帰りの引き渡し時、日々の連絡帳にて努めている	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○			面談等でご相談いただいた場合に、つくしんぼでの対応方法等お話しをさせていただいているが、全家庭ではないので、今後努力が必要
	保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		新規契約時、内容に変更があった場合説明を行っている
33		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		帰りの引き渡し時に説明をしてサインを頂いている	
34		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		引き渡し時や面談時に対応できるよう努めている。相談を受けた際は、記録を取り解決に向け努めている	
35		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	感染症拡大防止の観点から中止していたが、再開を検討して行く	
36		子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情受付の窓口、責任者を設置し対応に努めている	
37		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		まちコミを利用し情報を発信している	
38		個人情報の取扱いに十分注意している	○		日々努めている	
39		障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		日々努めている	
40		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	感染症拡大防止の観点から行っていないので今後検討していく	
非常時等の対応		41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年に2回訓練を行なっている	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		契約時に健康調査票や発作時対応の記入をお願いし、面談時に変更がないか確認をしている	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		健康調査票を保護者の方に記入していただき、それを元に対応している	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットを作成し、職員で共有し再発防止に努めている	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		法人事務局にて外部研修を申し込み、職員が参加できるよう努めている	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			必要な方に対して対応させて頂くようにしているが、現状対象となる方がいらっしゃらない

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。